地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲だより

2016
1月
No.20

兵庫県立尼崎総合医療センター

［部門紹介］

臨床検査部
「高度な専門性を発揮し、チーム医療を推進します！」

病院長 新年のご挨拶　［診療科紹介］泌尿器科・腎臓内科

●クリスマスコンサート（武庫川女子大学付属高等学校）

病院長 新年のご挨拶

明けまして
おめでとうございます!

兵庫県立尼崎総合医療センター　病院長　藤原 久義

統合病院
「兵庫県立尼崎総合医療センター」本格稼働！

開院6か月が経ちました。いよいよこれからです。ご来院、ご紹介をお待ちしています。

兵庫県立尼崎病院と県立塚口病院との統合新病院**「兵庫県立尼崎総合医療センター(AGMC)」**は、昨年、7月1日開院、大きなトラブルもなく、6か月経ちました。開院当初、外来受付で混乱があり、長時間お待たせするなど、ご迷惑をお掛けしたことをお詫びいたします。**幸い、多くの紹介患者さん、救急患者さんにご利用いただき、ありがとうございました。**

今年は統合新病院の人・医療機器・設備等をフル稼働できるかの正念場です。ジャンボ機の飛行に例えるなら、これまで飛行場の**滑走路を助走していた飛行機が機首を揚げて青空に向けて飛び立つ時期**になりました。

新統合病院が目指すこと　— 協調と高度急性期・高度専門・先進医療 —

新病院は、730床(重症系病床数145床)、常勤的医師300名、正規看護師数1,060名、職員数計2,000名という大きな病院です。尼崎市のみならず、人口約175万の阪神南・北地域全体を対象にした**大規模なER型救命救急センター(小児・成人:54床)やICU・HCU計145床の重症系病床、総合周産期母子医療センター、循環器センター、消化器センター、がんセンター、脳卒中センター、生活習慣病センター、ハイブリット手術室やロボット手術室を含む19手術室、最新鋭のがん診断(ペットCT)・治療設備(IMRT2台)、30床の外来化学療法室等**が動き出しました。診療・研修・教育に加えて、研究も重点課題とする我が国を代表する**高度急性期・高度専門・先進医療を担うマグネットホスピタル**です。

超高齢化社会を迎え、いわゆる**"2025年問題"**に対応するため、これまでの病院完結型医療から阪神南・北地域完結型医療・介護へという国の医療計画「地域包括ケアシステム」&「地域医療構想」がスタートしますが、我々の役割は**高度急性期医療**の部分を担うことです。構想全体と協調することを最重点課題として、モデルケースを目指します。「阪神医療福祉情報ネットワークシステム"*h-Anshin*むこねっと"」にも引き続き協力させていただきます。一流の設備と医療スタッフに加えて、患者さんの心のケアにも配慮した明るい病室や緑が一杯の病院です。統合新築病院に対する皆さんの期待に応え、断らない医療(外来・入院・手術)&納得・安全医療をモットーに、一層、工夫・改善してまいりますので、一層のご支援、ご鞭撻、ご協力をお願い致します。

平成28年元旦　兵庫県立尼崎総合医療センター　病院長　**藤原 久義**

泌尿器科

最先端技術を用いて最高水準の泌尿器科医療を提供します。

治療のご紹介

低侵襲手術

- 副腎腫瘍や腎尿路悪性腫瘍に対しては積極的な腹腔鏡手術
- 腎機能温存を目指した腎部分切除、尿管腫瘍レーザー焼灼術
- 前立腺がんに対するロボット支援手術

ロボット支援手術

前立腺がんに対する腹腔鏡手術で、術者が手術支援ロボット（ダビンチSi）のアームを遠隔操作して行うものです。従来の手術に比較して出血量が少なく、3D画像で操作を行いますので精巧な手術が可能になりました。

レーザー手術

前立腺肥大症に対するレーザー核出術（HoLEP）や尿路結石に対しては軟性細径尿管鏡を用いたレーザー砕石術（fTUL）、大きい腎結石に対する経皮的レーザー砕石術（PNL）、さらには、両者を併用した砕石術（TAP）などの最新治療が可能です。

対象とする疾患

- 副腎、腎、尿管、膀胱、前立腺、尿道、陰茎および精巣などの陰嚢内容に関する疾患
- 前立腺がん検診（PSA検査）異常に対する精査
（※男性不妊治療、腎移植は行っておりません。）

腎臓内科

急性期から慢性期管理まで、あらゆる腎臓病診療に対応します！

成人の8人に1人が罹患しているとされる慢性腎臓病（CKD）は、今後さらに増加すると予想されており、腎臓病診療の充実が重要視されています。新病院では、医師数が専門医3名を含む総勢9名となり、外来診療を週4日から5日に増枠して腎臓病の診療体制を強化しました。

透析センターでは、透析エリアに加えてシャント診察室を新設し、アンギオ室や手術室と連携のもとシャントトラブルへの迅速かつスムーズな対応が可能となりました。

これからも地域の中核病院として、あらゆる腎臓病に対して最良の治療を提供できるよう日々努めてまいります。

腎臓内科科長

竹岡 浩也

日本内科学会総合専門医・指導医
日本腎臓学会専門医・指導医・評議員
日本透析医学会専門医・指導医
日本老年内科専門医・指導医
日本高血圧学会指導医
京都大学臨床教授
徳島大学臨床教授

腎臓内科医長

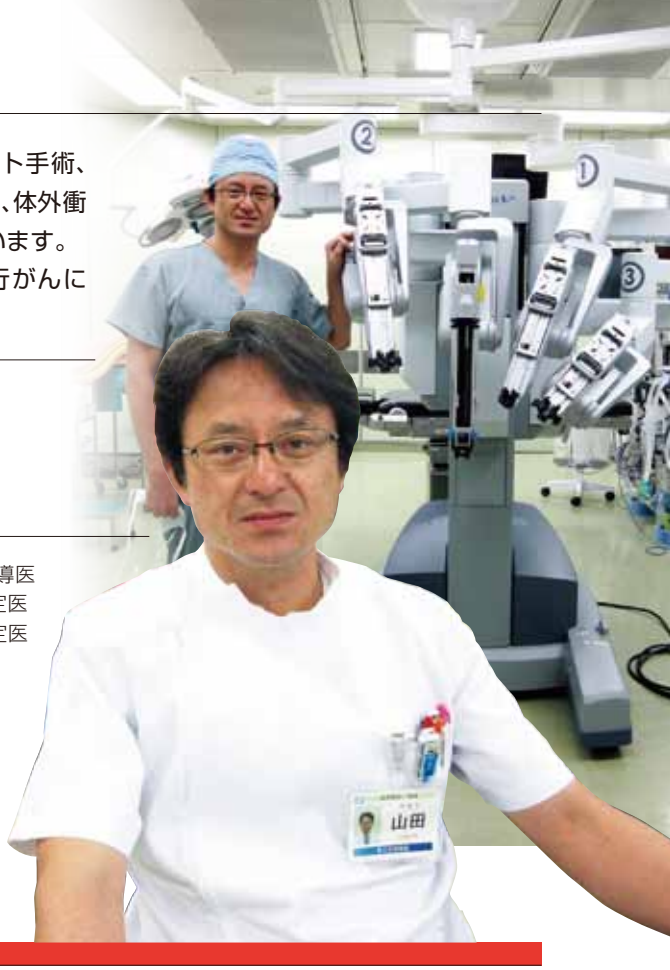
田中 麻理

日本内科学会総合専門医・指導医
日本腎臓学会専門医・指導医・評議員
日本透析医学会専門医・指導医
日本高血圧学会専門医

当科では泌尿器科全般を取り扱っていますが、特に、前立腺がんに対するロボット手術、前立腺がん以外の泌尿器がんに対する腹腔鏡手術、尿路結石に対する内視鏡手術、体外衝撃波療法(ESWL)、前立腺肥大症に対するレーザー手術(HoLEP)に力を入れています。

また、下大静脈や右房にまで進展するような腎がんの手術や転移のある進行がんに対する抗がん剤治療を中心とした集学的治療の経験も豊富です。

後列左から：白石医師、神野医師、坂本医師
前列左から：村蒔医師、山田医師、山道医師



泌尿器科科長

山田裕二

日本泌尿器科学会専門医･指導医
日本内視鏡外科学会技術認定医
泌尿器科腹腔鏡手術技術認定医
泌尿器科daVinci手術認定
神戸大学臨床准教授

腎臓内科のご紹介

腎臓病をできるだけ早期に診断して適切な管理･治療を行うと、腎不全への進行を遅らせることができます。当科では早期診断に積極的に取り組み、かかりつけ医と協力しながら腎臓病の進行抑制を目標に個々の患者さまにあった治療を行っています。腎臓病進行期においても安心して通院していただけるよう、透析看護師や栄養士、薬剤師らと医療チームを組んで腎代替療法選択から透析アクセス作成、透析導入期管理、シャントトラブルなど一貫して対応できる体制を整えております。また高度急性期病院で必要とされる種々の急性血液浄化療法にも対応可能であり、各科と密接な連携をとりながら取り組んでいます。

後列左から：三木医師、萩原医師、岩成医師、文原医師、辻本医師
前列左から：下田医師、竹岡医師、田中医師、池田医師

対象とする疾患

慢性腎臓病

可能であれば腎生検を行い、正確な診断に基づく最善の治療を提供します。「糖尿病透析予防指導」を行っており、ご希望があれば透析予防診療チームが継続して担当いたします。多発性嚢胞腎に対するトルバプタン療法などの最新治療も行っています。

末期腎不全

患者さんにあった治療法を選択していただき、血液透析や腹膜透析の透析アクセスの手術、透析導入を行っています。維持血液透析は近隣施設にお願いしていますが、合併症治療で入院中の血液透析やシャントトラブル対応は当科で行い、透析施設と連携をとって診療にあたっています。

急性腎障害

かかりつけ医や各科からのコンサルトに対して、原因精査、治療、腎不全期管理を行っています。

全身疾患に伴う急性血液浄化療法

血漿交換、LDLアフェレーシス、エンドトキシン吸着、血液吸着など各種の急性血液浄化療法に対応しています。

部門紹介
臨床検査部

高度な専門性を発揮し、チーム医療を推進します！

臨床検査部　技師長
石橋 万亀朗

◉紹　介

検査部で行われている主な業務は、患者さんから採取された血液や尿、喀痰などを検査する「検体検査」、内視鏡検査などからがん細胞を調べる「病理検査」、心電図、脳波、超音波など直接患者さんを検査する「生理検査」があります。

これらの検査は、病気の診断、治療方針を定める上で非常に重要な業務です。私たちは、これらの「検査」を迅速・正確・安全に行うように努め、また、救急医療に対応するために、24時間365日体制で検査を提供しています。

◉取り組み・抱負

最新の分析装置と搬送システムを導入することで、少量の検体で正確な検査結果を迅速に報告する体制を整えています。また、より高度な専門性を発揮するために、検査部門をワンフロアに集約し、部門間交流による情報の共有化を図りました。

そのほか、積極的に手術室やカテーテル室にも参画し、他職種との共同によるチーム医療の推進にも努めています。さらに、高度専門医療に対応するために、フローサイトメトリーや遺伝子関連の検査に積極的に取り組んでいます。

◉地域へのメッセージ

病院には、医師・看護師・薬剤師・検査技師・放射線技師など様々な職種の人がそれぞれの専門性を発揮し、チーム一丸となって患者さんにとって最良の医療を提供できるよう取り組んでいます。私たち検査部も、チーム医療の一員として、迅速・正確・安全をモットーに、より一層自己研鑽に努めていきます。

武庫川女子大学付属高等学校コーラス部による
Xmas コンサート

可愛らしいサンタさんが、素敵なプレゼントを持ってやって来ました！

小児科病棟に入院中の子供たちも大喜び！

去る12月19日土曜日の午後、県立尼崎病院で恒例であったクリスマスコンサートが、県立尼崎総合医療センターの玄関ホールと5階小児科病棟にて催されました。今年も、「NHK全国学校音楽コンクール」や「全日本合唱コンクール」の常連校である武庫川女子大学付属高等学校コーラス部の皆さん64名をお招きし、美しい合唱を入院患者さんにお届けしました。

ジングルベルや赤鼻のトナカイなどのクリスマス曲メドレーで始まり、ピーターパンや美女と野獣、プリンセスの仮装をした美少女の皆さんによるディズニーメドレーが披露されました。最後の四季メドレーの中の「ふるさと」では岡本先生の指揮に合わせた64名の歌声がホールに集まった患者さんや家族の歌声と共に一つの美しいハーモニーとなり、『大きな感動』と『闘病生活への温かい励まし』をクリスマスプレゼントしてくれました。

また、素敵な歌声をプレゼントしてくれた彼女達も、入院患者さんを前にして合唱した今回の経験を通して、きっと、全国大会で手にする数々の素晴らしい賞とは違った“歌うことの素晴らしさ”を改めて感じたことでしょう。これからの彼女達のコーラス活動の大きな原動力になることを期待します。

編集後記

先日、娘が友達からあやとりのひもをもらい、嬉しそうに遊んでいました。自分が幼い頃、よく叔母にあやとりを教えてもらったことを思い出し、とても懐かしく感じられました。

昔は、凧揚げ、カルタ、あやとりなどが冬の遊びの定番だったと思いますが、時代の流れと共に、子供の遊びも変わりつつあるように思います。あやとりのように、大人から子供に引き継がれる遊びが、いつまでも残っていって欲しいと思う今日この頃です。　（T.M.）

兵庫県立尼崎総合医療センター
Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号　TEL 06-6480-7000（病院代表）　FAX 06-6480-7001
URL：http://agmc.hyogo.jp/

兵庫県立尼崎総合医療センター　検索

発行　兵庫県立尼崎総合医療センター　企画協力・デザイン・印刷　兵田印刷工芸株式会社